

令和3年度 不来方高等学校教職員 働き方改革アクションプラン

取組内容

現状

- ・ 時間外勤務80時間以上の者 4%未満
- ・ 職員一人当たり時間外勤務 39時間
- ・ 個々の業務量に偏りがある。

① 教職員の負担軽減

- ・ 会議資料の事前配付・ 論点明示により、会議の進行を速やかにする。
- ・ 校内ネットワークの活用により、情報共有を効率化する。
- ・ 年次、振替等を気兼ねなく取得できる雰囲気をつくる。
- ・ 生徒指導・ 教育相談について、積極的に外部組織との連携を図る。

② 教職員の健康確保等

- ・ 年次取得の奨励をし、ライフワークの充実を両立する。
- ・ 部活動指導の質量の効率化を図る。
- ・ 管理職が面談し、メンタルヘルスの確認、情報提供を積極的に行う。

目指す姿

- ・ ライフワークバランスを意識する。
- ・ 管理職が適切に教職員を支援する。
- ・ 互いが互いのバックアップとなる。

目標

- ・ 時間外勤務80時間以上 ↓ 3%未満
- ・ 一人当たり時間外 ↓ 35時間以内
- ・ 18時までの退庁 ↓ 週1日以上